

# 夢いっぱい

まちのあの人にインタビュー!



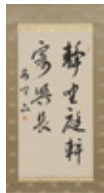
県内最高齢 川本 ヤスノさん 110歳

～いつも心穏やかに～

明治36年4月生まれの110歳で県内最高齢の川本さん。少し耳が不自由になっておられますが、食事はご自分で取られるなど、毎日元気に過ごされています。書を嗜まれ、書き上げた条幅は数十点にもおよび、つい先日も書かれたそうです。川本さんに、元気の源を尋ねると、「何事にも腹を立てず、みんな仲良く、心穏やかに過ごすこと。字が好きなので、一生懸命に書の勉強をしていきたい。」と話されました。これからもお元気でお過ごしください。

## 【条幅の展示】

川本さんがこれまでに書き上げた条幅約20点を展示します。  
○とき 9月24日(火)まで  
○ところ 市役所1階ロビー



# ねたろう君の 食育くらぶ

元気いっぱい★



## あなたも食育クイズにチャレンジ!

「ねたろう食育博士養成講座」から○×クイズを出題します。みなさん挑戦してみましょう!

Q1. 山陽小野田市食生活改善推進協議会が考案した「元気のりのり汁」の「のりのり」は「食べて元気が出る!」「海苔がのっている」という意味である。 ○・×

Q2. 苦くないピーマンを見分ける方法があるが、それはピーマンの形を見ると分かる。 ○・×



【Q1.の答え:○】元気のりのり汁は、山陽小野田市の地場産物を使った野菜たっぷり栄養満点の味噌汁に「干しのり」がのっています。

【Q2.の答え:○】ピーマンのへたの形で見分けることができます。五角形と比べて、六角形の方が苦みが少ないようです。また、縦に切って調理するとピーマンの細胞を傷つけず苦みが少なく、子どもでも食べやすいです。

## 第3期ねたろう食育博士誕生!

今年度も2日間の講座と筆記試験を経て、大人49人、子ども17人の食育博士が誕生し、8月18日に認定式を行いました。

講座では、体験をとおして「食」について楽しく学ぶことができます。来年度も開講しますので、ぜひ受講してください。

### 調理実習



【問い合わせ先】健康増進課 ☎ 71-1817

# 女と男の行詩

命の源である食事とその「食」を支える農林水産業。とりわけ農業における担い手の半分以上は女性であるなど、女性は農林水産業や地域の活性化において重要な役割を果たしています。また、生産・加工・流通を一体とする6次産業化の担い手としても大きく期待されています。

しかし、農山漁村にはいまだに男女共同参画社会の形成に向けて課題も多くあります。農林水産省では、様々な取組を行い、農山漁村に暮らす男女が、自ららしく生きがいを持ち、人生を自身で設計・実現することのできる活力ある農山漁村の実現を目指しています。

日々の生活に追われ、食の大切さを忘れてしまいがちですが、作品からは、食事や食を通じた家族とのコミュニケーションの大切さなどが伝わってきます。

○お父さんのたまに作る料理の味 忘れないからまた作ってね

○「この味が いいね」と君が 言ったから 君にもレシピを 教えてあげる

○「ありがとう」の一言が

料理をおいしく 家族仲よく

夫婦の絆も 深くする